

事 務 連 絡
令和 8 年 4 月 27 日

都道府県旅行業担当課長 殿

観光庁参事官（旅行振興）

麻しんの感染拡大防止に向けた周知への御協力について（協力依頼）

厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課より、麻しんの感染拡大防止に向けた周知について、別添のとおり協力依頼がまいりました。

重症になりやすく、感染力が極めて高い麻しん（はしか）については、令和 8 年に入り報告数が増加しており、令和 2 年以降最多となるペースで感染が拡大しています。

麻しんの更なる感染拡大を防止するためには、国民一人一人が自身の予防接種歴を確認し、必要に応じて麻しん・風しんワクチンを適切に接種することや、都道府県・保健所設置市区が実施する疫学調査等に協力いただくことなどが重要です。

つきましては、厚生労働省において別添のとおり、麻しんの感染拡大防止に向けた国民の皆様へのメッセージが取りまとめられましたので、貴都道府県におかれましては、貴都道府県登録の旅行業者等に対しまして、上記内容のご周知方よろしくお願い申し上げます。

（別添）

○厚生労働省事務連絡

「麻しんの感染拡大防止に向けた周知への御協力について（依頼）」

○麻しんの感染拡大防止に向けた国民の皆様へのメッセージ

事 務 連 絡
令和8年4月24日

法務省出入国在留管理庁総務課
法務省出入国在留管理庁政策課
財 務 省 関 税 局 総 務 課
財 務 省 関 税 局 管 理 課
文部科学省総合教育政策局健康教育・食育課
厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部企画・検疫課
厚生労働省職業安定局外国人雇用対策課 御中
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課
厚生労働省人材開発統括官付海外人材育成担当参事官室
国土交通省大臣官房危機管理室
こども家庭庁成育局成育基盤企画課
こども家庭庁成育局成育環境課
こども家庭庁支援局家庭福祉課

厚 生 労 働 省
健康・生活衛生局感染症対策部
感 染 症 対 策 課
予 防 接 種 課

麻しんの感染拡大防止に向けた周知への御協力について（依頼）

平素より感染症対策行政の推進に当たり、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

重症になりやすく、感染力が極めて高い麻しん（はしか）については、令和8年に入り報告数が増加しており、令和2年以降最多となるペースで感染が拡大しています。

麻しんの更なる感染拡大を防止するためには、国民一人一人が自身の予防接種歴を確認し、必要に応じて麻しん・風しんワクチンを適切に接種することや、都道府県・保健所設置市区が実施する疫学調査等に協力いただくことなどが重要です。

つきましては、別添のとおり、麻しんの感染拡大防止に向けた国民の皆様への

メッセージを取りまとめましたので、貴省庁におかれましては、所管分野に応じ、ホームページや広報媒体等を活用した周知や、関係機関等への情報提供について、御協力をお願い申し上げます。

御多忙のところ誠に恐縮ですが、麻しんの感染拡大防止に向け、御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

麻しんの感染拡大防止に向けた国民の皆様へのメッセージ

- 重症になりやすく、感染力が極めて高い麻しん（はしか）が、2020年以降最多となるペースで感染拡大しています。麻しん（はしか）は、マスクや手洗いでは感染予防として十分ではなく、ワクチンが重要です。麻しん（はしか）は、「かかってもらいたくないことではない」感染症ではなく、肺炎・脳炎・腸炎などで重症化することも多く、先進国でも重症化することもあり、1,000人に1人死亡するとされている感染症です。更なる感染拡大防止のため、以下の事項について、ご協力をお願いいたします。

<麻しん（はしか）を疑う症状がある場合の対応>

- 麻しんを疑う症状がある場合は、外出を控えるとともに、受診する場合には、事前に医療機関に連絡の上、医療機関の指示に従ってご対応いただくよう願っています。
- 感染拡大防止のため、受診の際には、公共交通機関の利用を可能な限り避けることについて、ご協力をお願いいたします。

<自治体の疫学調査へのご協力>

- 麻しん（はしか）の感染拡大防止には、患者や接触者に対する行政による調査が重要です。ご協力をお願いいたします。

<ワクチン接種のご検討>

- ご自身の発症予防、重症化予防、集団としての感染拡大防止の観点から、ワクチンは2回接種することが重要です。
- お子様は麻しん・風しんワクチンの定期接種の対象である1歳又は就学前1年間にある場合、積極的に早期の接種をご検討ください。
- 海外では大きな流行が複数の国で報告されています。接種が不十分な場合、渡航の2週間前までに接種することをご検討ください。
- 2000年4月1日以前に生まれた方は、当時の感染状況もあり、2回の定期接種が行われていない可能性があります。母子健康手帳等で、過去の麻しんの罹患歴又は2回の接種記録を確認できない方は、今一度、麻しん・風しんワクチンの接種をご検討ください。なお、今回の流行は10代～40代の方を中心に流行していることも踏まえ、特にこの年齢層の方はご検討をお願いいたします。

<特にご注意ください方々>

- 特に、以下の方々は、接種が不十分な場合、ワクチンの接種をご検討ください。
 - ・ 保育園や学校職員、医療機関職員など、小さいお子さんや患者さんと接触する機会の多い方
 - ・ 空港職員、観光業スタッフなど渡航者と接触する機会の多い方
- また、以下の方々は、感染すると重症化すると言われていますのでご注意ください。
 - ・ 妊娠中は麻しん風しんワクチンの接種はできません。早産や流産のリスクがあるため、妊娠前の接種をご検討ください。
 - ・ 免疫不全のある方は、主治医の方と相談のうえ、麻しん風しんワクチン接種をご検討ください。
 - ・ 乳幼児は、肺炎や脳炎を起こすリスクがありますので、ご家族の接種歴をご確認ください。